

Ⅱ -3 令和7年度第3期企画展 記録

『弥生の装い—青谷上寺地のアクセサリー—』

開催趣旨

アクセサリーは身体や衣服を飾るために着けるものですが、もとは呪術的な意味があったとされます。弥生人たちは石や骨、貝の他に金属やガラスといった素材を使い、着飾っていました。この企画展では、そんな弥生人たちの装いや玉の製作を取り上げています。

会期

令和7年12月6日～令和8年4月12日

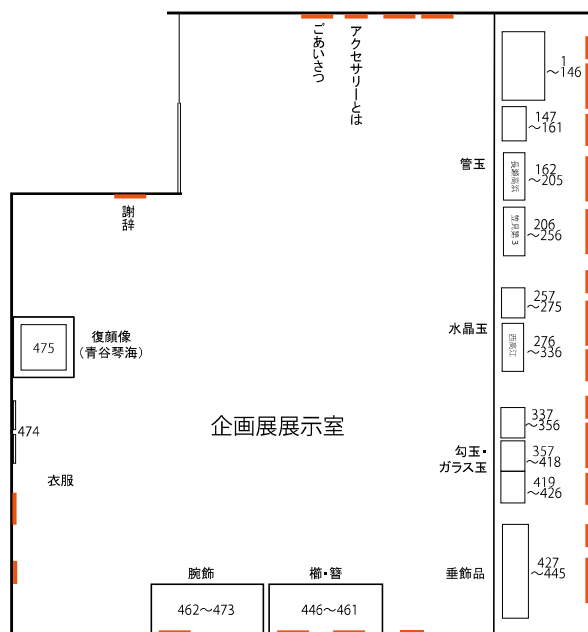


図 24 会場レイアウト



写真 18 展示品例

アクセサリーとは

現代でのアクセサリーと言え、身体や衣服を飾る表現のためのアイテムですが、もともとは呪術的な意味があったとされます。そこへ、自身の身分や権力を見せるための意味も加わっていったとされます。

弥生時代のアクセサリーはそういった呪術や権力誇示の意味合いが強かったと考えられています。当時は主に管玉、水晶玉、勾玉、ガラス玉、垂飾品、髪飾り、腕飾りといったものを作り、身に着けていました。素材も自然にある石や木、骨だけでなく、金属やガラスも用いており、緑や青のものを好んだとされます。

青谷上寺地遺跡でも様々な素材を利用した、多種多様なアクセサリーが出土しています。これらは、外から完成品を入手したものもありますが、多くは遺跡内で作られていたことが分かっています。

管玉

青谷上寺地遺跡

管玉とは、細長い円筒状のものであり、複数個に紐を通してネックレスやブレスレットとしていました。青谷上寺地遺跡では、管玉製作が盛んに行われ、その制作過程が観察できます。

管玉の主な素材は碧玉や緑色凝灰岩といった緑色系の石で、青谷上寺地遺跡では、石川県小松市原産の「菩提系碧玉」が多く用いられました。青谷上寺地遺跡での管玉製作は、まず原石を打割や石鋸による施溝分割によって四角柱状材に整形します。そして、砥石で切削して多角柱状材に加工してから石製や鉄製の針で孔をあけ、仕上げで円筒状になるまで表面を研磨しま



図 25 玉の模式図

す。この技法を「大中の湖技法（B技法）」と呼びます（図26）。また、穿孔の際は一方向から針を通してあり、孔が貫通した際の破片も見つかっています（写真18）。青谷上寺地遺跡の管玉は北九州へもたらされた可能性があります。

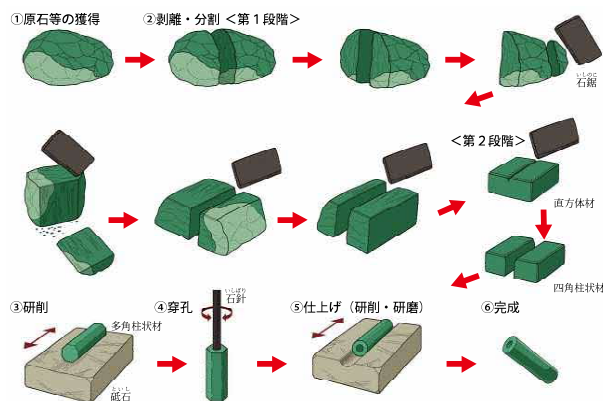


図 26 大中の湖技法（B技法）



写真 18 管玉穿孔貫通剥片

長瀬高浜遺跡

鳥取県内ではその他にも管玉製作が盛んな遺跡が見つかっています。それが、長瀬高浜遺跡と、笠見第3遺跡です。長瀬高浜遺跡は湯梨浜町に所在する集落遺跡で、弥生時代前期は管玉製作が盛んでした。国内最古級の管玉製作とされ、製作工程も原石を打割のみという技法を用いており、これは「長瀬高浜技法（X技法）」と呼ばれています（図27）。

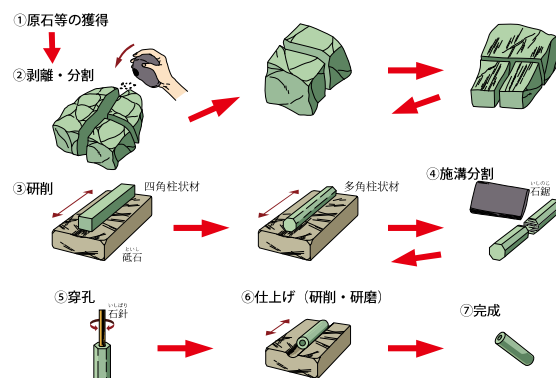
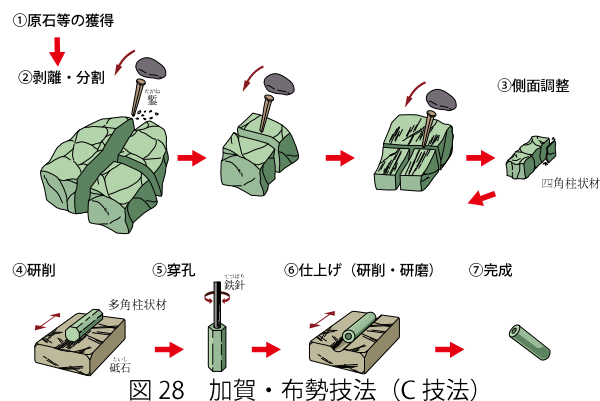


図 27 長瀬高浜技法（X技法）

笠見第3遺跡

笠見第3遺跡は琴浦町に所在する集落遺跡で、弥生時代後期前葉～中葉頃の製作工房が見つかっています。ここでは、施溝分割を使用しない、多角柱状材の状態で穿孔するといった、「加賀・布勢技法（C技法）」が用いられています（図28）。



水晶玉

青谷上寺地遺跡

水晶玉はその名のとおり水晶を使用した玉であり、青谷上寺地遺跡では20点以上確認されています。製作技法は詳しく分かっていませんが、原石の上下端を除去した六角柱材を分割して四角柱材を形成し、それをさらに分割、研磨という手順であったとされます。青谷上寺地遺跡の水晶玉は算盤玉（算盤の珠に似た形）と小玉（小型で球体）と呼ばれる形状であり、いずれも2mm～5mm台の大きさです。

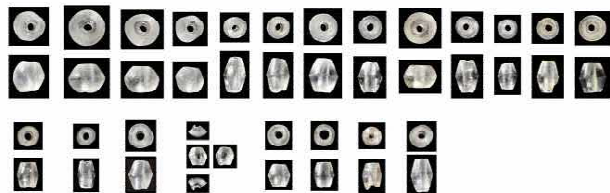


写真19 青谷上寺地遺跡で出土した水晶玉

西高江遺跡

北栄町の西高江遺跡では、玉作工房8棟と342点、3.2kgの水晶玉資料が確認されています。四角柱状材までの加工は同じですが、西高江遺跡では側面加工を施して形を整え玉に仕上げていました。鉄製工具も見つかっており、硬い水晶の分割・加工に使われたと考えられています。

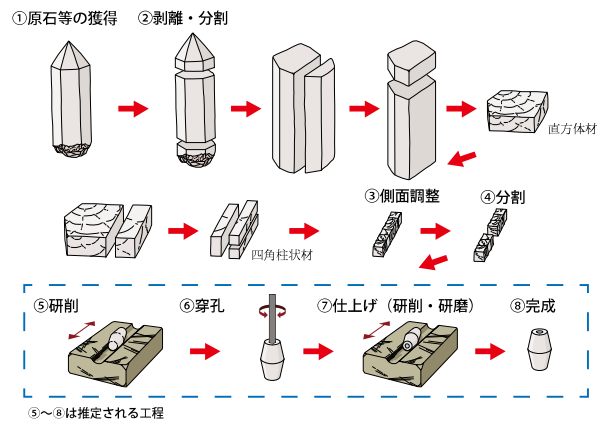


図29 水晶玉の制作工程

勾玉

青谷上寺地遺跡

勾玉とは、「C」字状に加工された玉であり、古代のアクセサリーとしてイメージされる方も多いのではないかと思います。青谷上寺地遺跡からは、ヒスイをはじめとした石製の他、ガラス製、土製の勾玉が確認されており、ヒスイは新潟県糸魚川産ということが判明しました。また、滑石製のものは子持勾玉と呼ばれ、大型の勾玉に小型の勾玉を付けた、珍しい形状です。土製勾玉は土坑から出土しており、アクセサリーではなく、祭祀用という見方もあります。



写真20 青谷上寺地遺跡で出土した勾玉

ガラス玉

青谷上寺地遺跡

ガラス玉にはカリガラス、ソーダ石灰ガラス、鉛バリウムガラス、鉛ガラスと、主成分の違いが見られ、それぞれで色も異なっています。青谷上寺地遺跡ではガラス小玉 196 点、ガラス管玉 20 点、ガラス勾玉 3 点とガラス玉がまとまって出土しました。さらに、ガラスが溶着したり、粒状に固まったりしたものも発見され、遺跡内でガラス^{ちゅうぞう}鑄造・製造がおこなわれていたことが明らかとなりました。

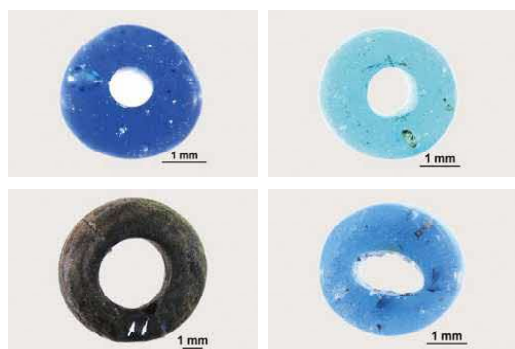


写真 21 ガラス小玉 (1 カリガラス (紺色)、2 カリガラス (淡青色)、3 鉛ガラス、4 ソーダ石灰ガラス)



写真 22 ガラス小玉とガラスが溶着した塊

副葬されたもの

ガラス玉は副葬品^{ふくそうひん}として墳墓に入れられることが多く、鳥取県では松原 1 号墓 (所在地; 鳥取市松原) や門上谷 1 号墓 (所在地; 鳥取市紙子谷) など出土しています。門上谷 1 号墓のガラス管玉は規格性が高く、同じ工房で製作されたと考えられています。

垂飾品・飾り

垂飾品

垂飾品^{すいしよくひん}とは、穴をあけて紐^{ひも}を通した装身具を指します。青谷上寺地遺跡では動物や魚の牙や骨を加工したもの、青銅鏡^{せいどうきやう}の破片を利用したものが確認されています。動物や鏡が持つ霊力を得るため身に着けていたと考えられています。



写真 23 垂飾品 (A 牙製、B 椎骨製)



写真 24 破鏡を利用した垂飾品

髪飾り

髪飾り^{かみかざり}には櫛^{くし}と簪^{かんざし}があります。青谷上寺地遺跡では竖櫛 (縦に長いもの) かつ刻歯式 (一木から削り出したもの) の櫛がほとんどを占めています。櫛の素材は木の他に鹿の角やクジラの肋骨が使われました。簪にはまっすぐに伸びるものと湾曲するものの 2 形態が見られます。こちらも素材は木や鹿の角を使用しています。これらの櫛や簪には、赤色顔料での塗装や文様表現など、装飾性の高いものがよく見られます。



写真 25 櫛や簪 (骨角製)



写真 26 櫛や簪 (木製)



写真 27 流水文が施された櫛



写真 28 簪の緊縛部分

腕飾り

腕飾りには腕輪が含まれますが、その素材の大半は貝（貝輪）となります。ただし、青谷上寺地遺跡などでは動物の牙でできた腕輪も確認されています。青谷上寺地遺跡の貝輪は主に二枚貝の中央を切り取って作ったものとなります。また、青谷上寺地遺跡では確認されていませんが、弥生時代は南西諸島（種子島から与那国島までの島々）でとれる、イモガイなどの巻貝が重宝されており、その流通範囲は北海道にまで及んでいました。



写真 29 牙製の腕輪



写真 30 貝輪

弥生時代の衣服

古代中国の歴史書『魏志倭人伝』には3世紀日本の衣服に関する記述もあります。それによると、男性はマントのように布を羽織るだけの「横幅衣」、女性は布に穴をあけて顔を通し、腰帯で縛る「貫頭衣」を着ていたと考えられていますが、詳しいことは分かりません。

弥生時代の布は、遺跡から出土した織機（布送具）から復元すると幅が30cm前後だったと推定されます。これでは幅が足りないため、衣服には2枚の布を縫い合わせていたと考えられます。実際、佐賀県吉野ヶ里遺跡では袖を縫い合わせたと思われる部分が見つっています。

縄文時代では大麻や苧麻などの植物素材であったと考えられていますが、弥生時代にはこれらに加え、絹が素材となりました。また吉野ヶ里遺跡から出土した衣服には染色したものがあります。当時の衣服すべてが着色されていたかは分かりませんが、衣服の色によって身分や職能を表していたかもしれません。

令和7年度第3期企画展

「弥生の装いー青谷上寺地のアクセサリー」展示リスト

展示番号	種別	器種	指定	出土地	時期	特記事項
1～146	管玉製作資料一式		重要文化財32点	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代中期後葉～古墳時代前期初頭	碧玉（菩提・女代南B群ほか）
147	石器	砥石	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代中期後葉	
148	石器	石鋸	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代前期後葉～中期前葉	結晶片岩
149	石器	石鋸	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代前期後葉～中期中葉	結晶片岩
150	石器	石鋸		青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代前期後葉～中期中葉	紅廉片岩
151	石器	石鋸		青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代中期中葉～後葉	紅廉片岩
152	土製品	紡錘車		青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代中期中葉～後葉	土器片を加工
153	土製品	紡錘車		青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代中期中葉～後葉	土器片を加工
154	土製品	紡錘車		青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代中期後葉	土器片を加工
155	土製品	紡錘車		青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代中期後葉	土器片を加工
156	石器	石針		青谷上寺地遺跡第17次調査	弥生時代終末期	馬ノ山産安山岩
157	石器	石針		青谷上寺地遺跡第17次調査	弥生時代終末期	
158	石器	石針		青谷上寺地遺跡第17次調査	弥生時代終末期	
159	石器	石針		青谷上寺地遺跡第17次調査	弥生時代終末期	
160	玉関連	円錐形剥片		青谷上寺地遺跡第17次調査	弥生時代後期～終末期	碧玉
161	玉関連	円錐形剥片		青谷上寺地遺跡第17次調査	弥生時代終末期	碧玉
162～205	管玉製作資料一式		鳥取県指定文化財	長瀬高浜遺跡	弥生時代前期中葉	緑色凝灰岩
206～256	管玉製作資料一式			笠見第3遺跡	弥生時代後期前葉～中葉	緑色凝灰岩・碧玉
257	玉素材	原石	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	水晶
258	玉素材	除去された上端部	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	水晶
259	玉素材	除去された上端部	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	水晶
260	玉素材	端部を除去した六角柱材	重要文化財	青谷上寺地遺跡第6次調査	弥生時代中期以前	水晶
261	玉素材	端部を除去した六角柱材	重要文化財	青谷上寺地遺跡第6次調査	弥生時代後期	水晶
262	玉素材	分割された六角柱材	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	水晶
263	玉素材	分割された六角柱材	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	水晶
264	玉素材	分割された六角柱材	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	水晶
265	玉素材	分割された六角柱材	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	水晶
266	玉素材	分割された六角柱材	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代前期後葉～中期前葉	水晶
267	玉素材	四角柱状材		青谷上寺地遺跡第1次調査		水晶
268	玉素材	四角柱状材		青谷上寺地遺跡第1次調査		水晶
269	玉素材	四角柱状材		青谷上寺地遺跡第1次調査		水晶
270	玉素材	四角柱状材		青谷上寺地遺跡第1次調査		水晶
271	玉素材	四角柱状材	重要文化財	青谷上寺地遺跡第6次調査	弥生時代中期後葉～後期前葉	水晶
272	玉素材	四角柱状材	重要文化財	青谷上寺地遺跡第6次調査	弥生時代後期中葉	水晶
273	玉	算盤玉	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期	水晶
274	玉	小玉	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代中期後葉	水晶
275	玉	小玉		青谷上寺地遺跡第12次調査	弥生時代後期後葉～終末期	水晶
276～336	水晶玉製作資料一式			西高江遺跡	弥生時代中期後葉	水晶
337	玉	勾玉	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	ヒスイ
338	玉	勾玉	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	ヒスイ
339	玉	勾玉		青谷上寺地遺跡第10次調査	古墳時代前期初頭～前葉	ヒスイ
340	玉	勾玉		青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代前期後葉～中期前葉	ヒスイ
341	玉	勾玉		青谷上寺地遺跡第1次調査		滑石
342	玉	子持勾玉		青谷上寺地遺跡第1次調査		滑石
343	玉	勾玉	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査		蛇紋岩
344	玉	勾玉	重要文化財	青谷上寺地遺跡第1次調査		蛇紋岩
345	玉	勾玉		青谷上寺地遺跡第9次調査	古墳時代前期初頭	蛇紋岩
346	玉	勾玉		青谷上寺地遺跡第18次調査		蛇紋岩
347	玉素材	勾玉未成品		青谷上寺地遺跡第1次調査		碧玉
348	土製品	勾玉		青谷上寺地遺跡第9次調査		
349	土製品	勾玉		青谷上寺地遺跡第12次調査	古墳時代前期	
350	土製品	勾玉		青谷上寺地遺跡第12次調査	古墳時代前期～後期	
351	土製品	勾玉		青谷上寺地遺跡第17次調査	古墳時代以前	
352	土製品	勾玉		青谷上寺地遺跡第1次調査	弥生時代後期	
353	土製品	勾玉		青谷上寺地遺跡第1次調査	古墳時代前期	
354	土製品	勾玉		青谷上寺地遺跡第1次調査	古墳時代前期	
355	土製品	勾玉		青谷上寺地遺跡第1次調査	古墳時代前期	
356	土製品	勾玉		青谷上寺地遺跡第1次調査	古墳時代前期	
357	ガラス製品	勾玉		青谷上寺地遺跡第1次調査		

[illegible]

展示番号	種別	器種	指定	調査区	時期	特筆事項
4 2 7	骨角器	垂飾品	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代中期中葉～後葉	イヌ犬歯
4 2 8	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 7 次調査	弥生時代前期後葉～中期前葉	タヌキ右下顎犬歯
4 2 9	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 7 次調査	弥生時代前期後葉～中期前葉	イタチ右下顎犬歯
4 3 0	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	イノシシ牙
4 3 1	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 2 次調査	弥生時代後期後葉～終末期	アホウドリ上嘴骨
4 3 2	骨角器	垂飾品	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	ニホンオオカミ上顎後臼歯
4 3 3	骨角器	垂飾品	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	サメ椎骨
4 3 4	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	サメ椎骨
4 3 5	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査		サメ椎骨
4 3 6	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期	サメ椎骨
4 3 7	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代中期後葉	サメ椎骨
4 3 8	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査		サメ椎骨
4 3 9	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期	サメ椎骨
4 4 0	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～終末期	サメ椎骨
4 4 1	骨角器	垂飾品	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～終末期	マグロ椎骨
4 4 2	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査		魚類椎骨
4 4 3	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	魚類椎骨
4 4 4	骨角器	垂飾品		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期	魚類椎骨
4 4 5	青銅器	破鏡	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査		重圏文鏡
4 4 6	木器	櫛	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～終末期	イヌガヤ
4 4 7	木器	櫛	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	
4 4 8	木器	櫛	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期	
4 4 9	骨角器	櫛（複製品）	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～終末期	鹿角
4 5 0	骨角器	櫛	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
4 5 1	骨角器	櫛	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
4 5 2	骨角器	櫛	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鯨骨
4 5 3	骨角器	櫛	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鯨骨
4 5 4	骨角器	櫛		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鯨骨
4 5 5	骨角器	櫛		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
4 5 6	木器	簪		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代中期後葉	イヌガヤ
4 5 7	木器	簪		青谷上寺地遺跡第 1 次調査		
4 5 8	骨角器	簪（複製品）	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	肋骨？
4 5 9	骨角器	簪	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	鹿角
4 6 0	骨角器	簪	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代前期後葉～中期前葉	鹿角
4 6 1	骨角器	簪		青谷上寺地遺跡第 1 次調査		鹿角
4 6 2	骨角器	腕輪	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	長骨
4 6 3	骨角器	腕輪	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	イノシシ牙
4 6 4	骨角器	腕輪		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代後期～古墳時代前期初頭	イノシシ犬歯
4 6 5	骨角器	腕輪（貝輪）		青谷上寺地遺跡第 1 次調査		二枚貝
4 6 6	骨角器	腕輪（貝輪）	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代中期後葉	二枚貝
4 6 7	骨角器	腕輪（貝輪）	重要文化財	青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代中期後葉	二枚貝
4 6 8	骨角器	腕輪（貝輪）		青谷上寺地遺跡第 1 次調査		二枚貝
4 6 9	骨角器	腕輪（貝輪未成品）		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代中期後葉	二枚貝
4 7 0	骨角器	腕輪（貝輪未成品）		青谷上寺地遺跡第 1 次調査	弥生時代中期後葉	二枚貝
4 7 1	骨角器	腕輪（貝輪未成品）		青谷上寺地遺跡第 1 次調査		二枚貝
4 7 2	骨角器	腕輪（貝輪未成品）		青谷上寺地遺跡第 1 次調査		二枚貝
4 7 3	骨角器	腕輪（貝輪未成品）		青谷上寺地遺跡第 1 次調査		二枚貝
4 7 4		貫頭衣復元品				
4 7 5		弥生人復元像				青谷琴海

協力者一覧

【機関・団体】（五十音順）

公益財団法人鳥取市文化財団鳥取市埋蔵文化財センター、鳥取県埋蔵文化財センター、
鳥取市教育委員会、北栄町教育委員会、湯梨浜町教育委員会

【個人】（五十音順、敬称略）

加川 崇、神谷 伊鈴、谷口 恭子、中野 秋鹿、牧本 哲雄、山柊 雅美

図・写真の出版

図1～4、写真3・4・7・13

鳥取県埋蔵文化財センター 2013『青谷上寺地遺跡フォーラム 2013 日本海を行き交う弥生の宝石～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～』より一部改変のうえ転載